

歴史資料ネットワーク2012年度総会・シンポジウム

# 歴史遺産と資料を守りぬく

—関西と知られざる大震災の現場を結ぶ—

昨年発生した大震災の被災地では、1年以上が経過した現在でも、歴史資料や文化財を救う活動が続けられています。

一方、私たちの関西では地域社会の縮小や「改革」の中で、地域遺産を取り巻く厳しい状況がある中で、それらを未来へと伝えようとする取り組みが行われています。

大震災後に保全活動が始められた茨城や長野での取り組みの成果と教訓に学びつつ、私たちがこれから歴史遺産を守り、いかに未来へと伝えられるか、みなさまと共に考える場としたいと思います。

## ◆報告

- ・白井哲哉氏（茨城歴史資料・文化財救済・保全ネットワーク準備会）
- ・白水智氏（地域史料保全有志の会〈長野県栄村〉）
- ・尾崎安啓氏（寝屋川市立中央図書館）

## ◆日時：7月8日(日)

総会：10:00~12:00  
シンポジウム：13:00~17:00

## ◆会場：

神戸大学  
梅田インテリジェントラボラトリ

大阪市北区鶴野町 梅田ゲートタワー八階  
阪急梅田駅 東へ徒歩3分  
JR大阪駅 東へ徒歩7分

※右の地図をご参照ください

## ◆資料代：500円

